

## メイシアター改修工事 大幅に縮小

学童保育の民間委託に関わる条例改正、待機児童解消アクションプラン・メイシアター改修工事に関わる補正予算などが審議されました。

5月  
議会

今年の4月から1年間メイシアターを休館して、約40億円の予算で改修工事が行われることが決まり、市民のみなさんから期待が寄せられていました。二度の入札が工期の短さ・発注金額が低いことにより不調となり、市は来年4月までに全工事計画の実施は困難と判断。舞台機構設備工事、受変電設備更新、共用部分のトイレ更新、既設のエレベータ改修など約6億5千万円の工事を実施するとして、約32億円を減額する補正予算が提案されました。

今回の減額により実施できない工事(右の囲み参照)についての具体的な計画は示されませんでした。日本共産党は減額を急がず、全国的にも高い評価を得ているメイシアターの質を守り、今後の30年間維持できるように、改修工事は工期を延長し、計画通り実施するべきと意見をのべて反対しました。

### 減額により実施されない工事

- ホールの天井の耐震化
- 舞台の音響
- 照明の設備更新
- 熱源機と空調機の更新
- 点字ブロックや一部のスロープ
- 各ホールにあるトイレ改修
- 客席の車いす席や大ホールのエレベータの設置などバリアフリーのための工事



## 市民のくらしや福祉を支える非常勤職員のみなさん

### 大阪維新が提案 報酬を引き下げる条例 可決 ◀ 自民党・公明党・新選会が賛成

「非常勤職員」という言葉には、一般的に正規職員の補助的な役割だとか、責任の軽い仕事というイメージを持たれがちですが、正規職員が配置されていない職場もあり、市民の福祉をはじめとする様々な現場で直接市民と接し、仕事をしています。

条例は吹田市の様々な職場に配置されている一般職非常勤職員の報酬の上限を新たに設け29万200円とするものです。上限額の設定により、減額となる主な職種は障がい児介助員、学童保育指導員、児童館の児童厚生員、図書館司書などのみなさんです。(下の囲みを参照)

大阪維新の会は、「他市と比較し金額が高い」と言いながら、採用にあたっての資格要件、業務の内容、責任と役割、勤務時間等の総合的な比較は全く行っていません。

### 市民サービスの継続が危ぶまれます

今回の事により、モチベーションの低下を引き起こし、生活設計変更のための退職・転職をせざるを得ないなど、必要な所に必要な職員を配置できなくなり、市民サービスの低下が危惧されます。

労使の妥結をもって報酬規程の変更が行われるのが地方公務員法の趣旨に合致するものです。議会・議員はそのことを促すことはあっても、労使関係へ介入するのは無責任です。そのことを理解しながら当事者になり代わろうとする、市長の執行権を乱暴に侵害する、まさに吹田市議会の歴史に汚点を残すものです。

### 市民の身近なところで…

留守家庭児童育成室指導員・児童館の児童厚生員・学校の障害児介助員・公立図書館の司書・教育センター教育相談員・青少年室の青少年相談員と主任・介護保険の認定調査員と窓口相談員・のびのび子育てプラザの保育士・こども発達支援センターバンビ親子教室の保育士と看護師と発達指導員・地域支援センターの言語聴覚士と作業療法士と発達指導員・平和祈念資料館業務職員・男女共同参画センター講座等企画業務職員・高齢福祉室介護予防担当の体育指導員・障害福祉室手話通訳員・休日急病診療所看護師・保健センター栄養士・教育センター発達相談員・不登校児童生徒指導員・生涯学習推進本部事業職員・文化財保護課の学芸員・少年自然の家自然体験学習指導員・青少年クリエイティブセンターこどもクラブ指導員・総合福祉会館の手話通訳員 (2017.5 現在510人)



▲西山田児童センター

この10年間で支援学級の在籍数が約3倍になっています。資格の要件も満たし、経験を積み重ねている障がい児介助員の果たす役割は大きいです。支援担任と時間割も同じで教材準備も業務に入っています。他市は、生活介助が中心だったり、あくまで補助的な仕事。吹田市の障がい児介助員の仕事の中身をみてほしいです。

障がい児介助員さん

平日の午前は幼児教室を行い、子育て真っ最中のお母さんの悩みを受け止め、必要なら関係機関にもつなげたり、平日の午後や土日には子ども自身が友達作りをし、人間関係を学んでいくようにしている。心地よい居場所づくりの追求にはゴールがない。

児童館の児童厚生員さん



### スポーツ推進基金設立 基金条例の改正

市立吹田サッカースタジアムにネーミングライツ(命名権)を導入。スポンサーから得た費用をスポーツ推進基金として設立し、スタジアムの利用促進、スタジアムを含む市の体育施設の環境整備等を行うとしています。こどもたちをはじめ、すべての世代のスポーツ推進や健康づくりなどに基金が活用されるように求め、賛成しました。



### 学童保育の民間委託 事業者選定の委員会を設置

学童保育の民間委託にあたり、事業者の選定と評価を目的とする選定委員会を設けるもので、保護者代表も2人、特別委員として加わります。一度選ばれた事業者の評価が高ければ、引き続き契約更新が可能になります。「3年ごとに事業者が変わるのでは?」という保護者の不安は一定解消されます。しかし、学校法人・社会福祉法人に限定してきた応募要件を「各種法人」に広げようとしており、営利目的の企業参入が危惧されます。公的責任が果たされるように求めました。